

第 53 号

2018. 1. 20

日本歯科技工士連盟機関紙

れんめい

発行 日本歯科技工士連盟
東京都新宿区市谷左内町 21-5
歯科技工士会館内
発行人 衛 藤 勝 也
編集 日本歯科技工士連盟

執行部提出全議案を承認 2017 年度第 2 回評議員会

日本歯科技工士連盟（会長・杉岡範明）は、去る 11 月 18 日（土）、歯科技工士会館（東京・市ヶ谷）において 2017 年度第 2 回評議員会を開催した。始めに八重樫新一副議長が氏名点呼を行い、評議員定数 60 名に対し 55 名の出席を確認（後刻 2 名の出席確認）。これを受け藤原俊彰議長が、日本歯科技工士連盟規約第 26 条に基づき 2017 年度第 2 回評議員会の開会を宣言した。

次いで議長が議事録署名人の選出方法を議場に諮ったところ議長一任となり、西村敏和評議員（滋賀）と山田光明評議員（徳島）が指名され、両評議員とも受諾した。その後、杉岡会長の挨拶（要旨別掲）に移った。

引き続き議長より議事に入る旨が議場に告げられ、執行部より第 1 号議案及び第 2 号議案が一括で上程された。

初めに第 1 号議案「2018 年度活動方針承認を求める件」が大西清支理事長より上程され、2018 年度は「歯冠修復および欠損補綴の円滑な実施が良質な歯科医療の確保に資するという趣旨を歯科医師と歯科技工士が共有し、製作技工に関わる主な項目と所定点数を関係者に周知するとともに、歯科の医療費の適正な評価を求める渉外活動を行う」、「超高齢社会における歯科技工士の業務の在り方を検討し、多様化するニーズに対応できる質の高い歯科技工士教育を実現するため、教育の充実に向けた渉外活動を行う。併せて、学級定員の適正化等に向けた渉外活動を行う」を活動方針大綱として掲げ活動する旨の説明と、重点的に取り組む対内政



策、対外政策についての説明がなされた。

次いで第 2 号議案「2018 年度予算承認を求める件」が阿部正従副会長より上程され、資料を基に詳細な説明がなされた。

引き続き質疑応答（要旨別掲）が行われるとともに、杉岡会長より、厚生労働省委託「平成 29 年度歯科補てつ物製作過程等の情報提供推進事業」について、無届の歯科技工所における歯科技工の防止について、歯科技工士学校養成所指定規則の一部改正についての報告と説明が行われた。その後、採決を行った結果、第 1 号議案、第 2 号議案とも賛成多数により承認された。

その後、協議事項として、組織拡充に関連して賛助会員の募集について執行部と評議員との間で意見交換が行われた。また、報告事項として執行部より、組織活動交付金ならびに新卒者入会推進費の支給について、第 48 回衆議院議員総選挙への対応との結果、歯科技工士に関する制度推進議員連盟の活動、歯科三団体連盟役員懇談会の開催、2018 年度日本歯科技工士連盟役員選挙役員選挙管理委員会設置について等、時局・生涯活動に関する報告があった。

最後に議長が議事進行への協力御礼を述べ、全日程が終了した。



継続する力で内部を固め 外に向かって挑む

杉岡会長挨拶要旨

本日は 2017 年第 2 回日本歯科技工士連盟評議員会に全国からご参集いただき、ありがとうございます。

まずは、先の第 48 回衆議院議員総選挙における地域組織連盟の皆さまの真摯な活動に心から感謝とお礼を申し上げます。特に、現在の本連盟活動の中心的存在である「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」の皆さまに対するそれぞれの地元の活動に議員本人から感謝の意が伝えられています。

私も古橋統括副会長と、10 月 12 日に議連の伊吹顧問の京都 1 区と橋本幹事長の岡山 4 区を、17 日には松本事務局長の東京 19 区、そして 18 日には石川事務局次長の茨城 5 区と上川会長の静岡 1 区を地元の地域組織連盟役員のご同行いただき、激励に伺いました。

選挙結果等の詳細については、後ほど理事長から報告がありますが、議員連盟所属議員の皆さまの大方の当選によって、今後の本連盟活動も一層充実したものになると確信しています。その意味で、重ねて地域組織連盟の皆さまの真摯な奮闘に心から敬意を表します。ありがとうございました。

言うまでもなく、日本歯科技工士連盟の活動は、歯科技工士のナショナルセンターである公益社団法人日本歯科技工士会の事業推進を政治的側面から支援する限定的なものであり、国民が有する主義主張に則った権利の履行とは一線を画すものと思っています。

その直近の成果は、既に始まっている「平成 29 年度歯科補てつ物製作過程等の情報提供推進事業」や「無

届の歯科技工所における歯科技工の防止に関する厚生労働省医政局長通知」など、歯科技工士の環境整備を確実にするための政策が着実に前進しています。

また、組織の機関決定である「良好な歯科技工経済」を実現するための「製作技工に要する費用」や「養成年限の延長」についても、今申し上げた選挙結果を踏まえて、行政や関係団体に対し、さらに訴えを強めてまいります。

その上で、今を生きる私たちに最も重要な使命は、次の世代が少しでも良い環境で業務に従事して国民歯科医療の発展に貢献して貰うことです。そのためには、全ての歯科技工士が人任せではなく、ナショナルセンターに結集し、当事者意識を持って、しっかりと活動して貰わなければなりません。

しかし、昨今の状況を考えると私たちに残された時間は少ないと思っています。

どうか、歯科技工士の未来を明るくするために、ここに居られる皆さまお一人お一人がリーダーとなって、継続する力で内部をしっかりと固め、外に向かって挑んでもらいますようお願い申し上げます。

第2回評議員会質疑応答要旨

【質問】 歯科技工士の経済問題について、歯科技工士に仕事の対価がきちんと届くようにする方法として、具体的にどのように考えているのかお聞きしたい。(大阪・重光評議員)

【回答】 以前より常々お話ししているが、経済問題解決のためには外堀を埋めることが重要だと考えている。具体的な取り組みについては、公益日技が開催した全国会長懇談会などの場で資料を提示して説明している。確実に前進しているの、ぜひ地元の会長に我々の方向性を聞いていただきたい。(杉岡会長)



【質問】 平成30年度の概算要求を見ると、厚生労働省歯科保健課関係予算として歯科技工士養成施設活性化事業という新規事業に予算がつくようだが、歯科技工士教育機関の閉校や閉科、募集定員の定員割れが相次いでいる現在、入学者を増やすための活動など、歯科技工士会、歯科技工士連盟として具体的な策はあるか。(愛知・中村評議員)

【回答】 歯科技工士養成施設活性化事業ということで1,600万円の予算が要求されているが、新規事業ということもあり、その効果は未知数である。われわれとしては、長年主張している経済問題や社会的地位を改善することが、歯科技工士志望者を増やす近道だと考えている。(杉岡会長)

【質問】 賛助会員について、本会員が亡くなったり退会した場合、その本会員が紹介した賛助会員は名簿から削除されるのか。(兵庫・中井評議員)

【回答】 賛助会員は本会員からの紹介を前提としている。



したがって、ご指摘のような場合には名簿から削除している。(大西理事長)

【質問】 歯科技工士に関する制度推進議員連盟について、当県でも推薦したい議員の方がいるのだが、何人でも推薦して構わないのか。(栃木・菊地評議員)

【回答】 議連に推薦していただく前提として、まずは各地域組織連盟で当該議員と強固な関係を築いていただきたい。その上で、当該議員が議連への所属を希望されている場合は推薦していただければと思う。(大西理事長)

なにになに？税金も年金もおトク？

自営業・フリーランスのみなさんへ

一生涯もらえる年金が増えるから、老後もおトク。

掛金が全額所得控除だから税金がおトク。



歯科技工士

国民年金基金

国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金。

60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。

※非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

わたしも入っています。
優香

資料請求・ご相談・お問い合わせは
お気軽に今すぐこちらへ!

※地域によっては携帯電話からはつながらない場合があります。

TEL 03-5225-6050

Email info@gikoushi-nenkin.jp

http://www.gikoushi-nenkin.jp

歯科技工士国民年金基金

〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-5
歯科技工士会館内

日本歯科技工士連盟・ 都道府県歯科技工士連盟 戦いの記録

2017年9月28日、衆議院は第194回臨時国会冒頭に解散し、その後第48回衆議院議員総選挙は同年10月10日に公示され、10月22日に投票が行われた。本紙は、本連盟における「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」(以下、議連)の所属議員を中心とした本連盟推薦候補者と共に戦った記録である。

伊吹 文明 衆議院議員
(京都1区)



松本 洋平 衆議院議員
(東京19区)



上川 陽子 衆議院議員
(静岡1区)



橋本 岳 衆議院議員
(岡山4区)



石川 昭政 衆議院議員
(茨城5区)

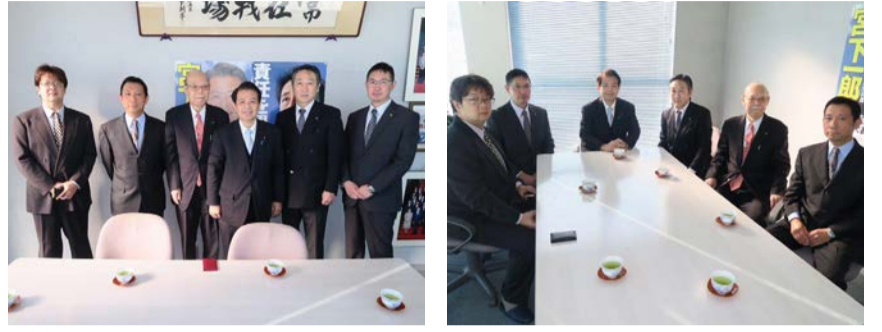


日本歯科技工士連盟・都道府県歯科技工士連盟 戦いの記録

田村 憲久 衆議院議員
(三重 1 区)



宮下 一郎 衆議院議員
(長野 5 区)



三ツ矢憲生 衆議院議員
(三重 4 区)



秋元 司 衆議院議員
(東京 15 区)



岸田 文雄 衆議院議員
(広島 1 区)



平口 洋 衆議院議員
(広島 2 区)



今回の衆議院議員選挙のキャッチコピーは「日本の明日を、私たちが決めよう」でした。日本歯科技工士連盟も私達の明日を、私達の行動で示す決意で、各地域組織連盟の皆様との連携もとの戦いでした。

最後に多くの地域組織連盟の皆さんの大きなご協力で第48回衆議院議員選挙を終えることが出来ました。多くの推薦議員の当選に大きく貢献することができ、そして健闘虚しく残念な結果もありましたが、今回の経験をもとに本連盟は更に強力な団体に成長しなければならないと実感しました。

また、選挙は公示日からの運動だけではなく、日頃から「日本歯科技工士連盟賛助会員」「党員確保」も重要な要素であります。特に「議連」所属議員は我々の抱える課題を解決する思いを持った議員の集まりであり、常日頃から我々の課題に積極的に取り組んで頂いております。

「議連」所属議員へ、今以上の支援が我々の一番大きな課題「経済問題」を解決する道筋であることは間違いありません。重ねまして、「議連」所属議員の更なる支援と「日本歯科技工士連盟賛助会員」及び「党員確保」をよろしく願います。

今回の衆議院議員選挙では多くの会員の皆様の協力がありました。すべてを掲載することが出来ませんでしたことを、お詫び申し上げます。また、今後の選挙では、皆様のご支援を幅広く掲載したく思っております。積極的な写真の投稿をよろしく願います。

会員の皆様のご協力に感謝致します。